

●Hさん
今年で 21 年目。最近はお欠席の連絡はスマホの LINE を活用。またコロナの影響で月 1 度の活動を人数制限して、月 2 回にしたら街がきれいに！思わぬコロナ効果。

●Mさん
子どもと一緒にゴミ拾い活動に参加すると、子どもにとっても知ることが沢山で勉強になる。この活動こそ、多世代を巻き込んで行えそう。

●Hさん
お孫さんのけがが心配。継続性が無いので仲間づくりにはなりにくい。

●Yさん
清掃活動は自治会がやっている。自分たちが関わることはない。

●Iさん
引っ越してきて 3 年、初めて地域の班長になり、初めて地域の皆さんたちの活動をいろいろ知り感謝している。今後も積極的に参加。楽しみ。

●Hさん
子ども会は子どもが入らないのではなく、親が入りたがらない。自治会も若い人は敬遠。特に自分の地域は男性ばかり。地域性かも。

●Mさん
子ども達は地域の活動に参加しているいろいろな世代の方と関わりたい。地域活動に参加して自分も勉強したい。

●Yさん
自分が子ども会の会長をやった時には、「子ども会の役員を楽しむ！」を心がけた。おかしなルールや慣習にとらわれず、お楽しみをたくさん取り入れ活動した。

■第2回 まちづくりサロン ■

開催日時: 2021 年8月21日(土)10時~11 時半



●Yさん
ファミサポでは、送迎などの子育て支援サポートとして男性も活躍している。何気ない会話も子どもの成長に一役買うこともある。どんどん地域の男性も活躍して欲しい。ファミサポは 11 月から養成講座がはじまる。有償ボランティア事業。

●Iさん
周りの子育て中のママを見ると、自治会や子ども会は仕方なくやるというマイナスのイメージ。自分は子どもが小学校に入ったら子ども会に入るものと思っていたが、活動の状況がわからない。

●Kさん
災害の避難情報のレベル3は「高齢者等避難」とあるが、ここには避難に時間がかかる子どもも含まれる。災害の地域機情報の最新情報はなかなか届いてこない。

●Yさん
LINE のオープンチャットを活用すると、災害最新情報が見られる。

●Iさん
子育てに追われていて、防災については後回し。災害時については 9 月に開催の防災講座で少し勉強しようかと。

●Nさん
家庭の中でも地域の中でも挨拶が大切。災害時には遠くの親戚より近くの知り合い。近所づきあいを考えて地域は大切に。

●Mさん
避難所収容は考えていない。在宅避難が基本。あと、災害時は私設の避難所をみんなで開設していい。行政がやってくれるのではなく、自分たちで自主的に運営することが大切。先日の熊本震災の際は、保育園が子連れの避難所に。先生たちは子育ての専門家なので潤滑な運営が行われた。

●センター
親と一緒に時に災害に合うとは限らないので、子どもには、アレルギーなどの情報カードを携帯させておくことが大切。

●Kさん
子育て中の方々はぜひ我が子を守るためにも、救命講座を受けてもらいたい。消防署に申し込めば、出張講座も行ってくれる。災害に備えましょう。

今回のテーマ「子育てについて」は、様々な活動から見えてくる地域性や子育て中の悩みなど、参加者の情報交換の内容は多岐にわたりました。専門知識のある方は情報提供者として、質問などがある方は情報収集の場として活用いただけただけではないでしょうか。次回のテーマは「環境」です。身近な環境を考えながら、楽しく情報交換致しましょう。次回もお気軽にご参加お待ちしております。